

第1回小さな自然観察クラブ 春の名寄公園を歩こう

5月11日（土）に令和6年度の小さな自然観察クラブ第1回「春の名寄公園を歩こう」を開催しました。博物館で開会式を行い、これから12月までいっしょに活動する人たちと顔を合わせて自己紹介をしました。これからみんなで仲良く活動していきましょう。

開会式を終えて、さっそく名寄公園での観察が始まりました。今年の春は雨が少なく暖かい日が続いていましたが、この日は開始直後、霧雨程度の雨が降りました。雨はすぐに止んだため、曇り空の下、観察会を行いました。

オオバナノエンレイソウやアズマイチゲなどの春の植物や、アオサギの営巣地を観察したり、笹舟をつかって水に浮かべたり、草笛を吹いてみたりしながら、名寄公園の外周をぐるっと周ってひょうたん池のそばで集合写真を撮影しました。

その後、網を使って池の中の生物を捕獲してみました。オオタニシやスジエビ、ドジョウ、トンボの幼虫（ヤゴ）、ミズカマキリ(珍しいようです)などの水生昆虫を捕まえた子もいました！池にいる生物たちを捕まえようと、ほぼすべての子どもたちが池の中をガサガサしていました。冬が終わって、桜が咲き、緑が少しずつ増え、多くの生物が見られる名寄の自然。これからも様々な自然に会いに行きましょう。



はじめまして
これからよろしくね



みんなで笹舟をつかって
水に浮かべたよ

第2回小さな自然観察クラブ 天塩川を散策しよう

6月15日（土）に第2回小さな自然観察クラブを開催しました。5月からクマの出没・目撃情報がたくさんあり、事前の募集や第1回でお知らせしていた「名寄の滝を見に行こう」から行き先を変更することになりました。天塩川の散策に決まったのは前日の6月14日でした。

第2回は9名のクラブ員が参加し、バスで曙橋へ向かいましました。今回のルートは曙橋から名寄大橋へと河川敷を歩きながら北上し、名寄大橋を渡って反対側の河川敷を散策、最後は曙橋を渡ってバスで博物館に帰るコースでした。

最初に曙橋の真下から橋の裏に作られたイワツバメの巣を観察しました。巣の中にはヒナがいて、親鳥がヒナに食べ物を与えるために飛び交っていました。

天塩川東側の河川敷にはシロツメクサやムラサキツメクサ、コウリンタンポポなど色とりどりの花が咲いていました。博物館スタッフや指導員会の方から花かんむりの作り方を教わり、頭や手首につけて楽しみました。

また、イタドリをナイフで切って作った笛を鳴らしてみました。鳴らすのにはコツが必要なのですが、2本並べて鳴らしている名人もいました！

天塩川は大きな川のため、川の水に触れるほど近くに行くことはできませんが、河川敷の遊歩道に大きな水たまりがあり、そこにも生き物がいました。水たまりにはオタマジャクシやアメンボなどの生き物がすんでいて、ニホンアマガエルを捕まえた人もいました。

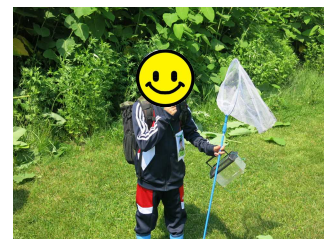
ゆっくりと進んだため、しおりのルートとはちがい、天塩川東側の河川敷のみを散策しましたが、たくさんの自然を観察することができましたね◎



橋の裏側にイワツバメの巣を発見！



はなかんむりでオシャレに



イタドリ笛名人



水たまりにはなにがいるかな？

第4回小さな自然観察クラブ 黒曜石探し

9月15日（日）に令和6年度小さな自然観察クラブ第4回「黒曜石探し」を開催しました。第3回「名寄川で川釣り体験」、第3回リベンジ編「吉野川で川釣り体験」は、それぞれクマの出没と荒天により中止。今回は2か月ぶりのクラブ活動となりました。

開会式を終えて、久しぶりの活動にクラブ員の気合は十分、バスで望湖台自然公園へ向かいました。川での活動だったので、ライフジャケットを着ていざ忠烈布川へ！それぞれ好きな場所をみつけて黒曜石探しに夢中になりました。



見つかるかな？



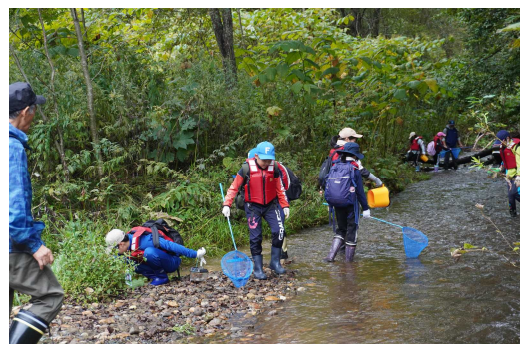
たくさん拾ったよ！

黒曜石探しの才能があってすぐに見つけた人、なかなか見つけられず苦戦した人、黒曜石以外にも素敵な石を見つけてコレクションする人など、みんなで楽しく石探しをしました。

また、石探し以外にも、水中メガネを使って川の底をのぞいてみたり、タモ網でガサガサしてみたりする人もいました。タモ網をつかってエビや小さな魚などの生き物を捕まえることも

できましたね。

今回の活動ではたくさんの黒曜石が見つかりましたが、一番大きな黒曜石を見つけたのは金田館長でした。次に黒曜石を探すときは、金田館長が見つけたものより大きなものを見つけれれるといいですね！



水の中にはなにがいたかな？

第5回小さな自然観察クラブ せんべい焼き体験

10月19日（土）に第5回目の小さな自然観察クラブを開催しました。今回は水が干上がった忠烈布湖の湖底探検を予定していましたが、雨天のためプログラムを変更してみんなでせんべいを焼きました。

まずはエプロンをつけてしっかり手を洗って、材料の計量から。電子ばかりで材料を計ります。大胆に入れるグループもあれば、すこ〜しずつ入れるグループもありました。

材料を計ったら協力してしっかり混ぜて、生地を耳たぶくらいのやわらかさにします。



生地ができたらいよいよせんべい焼き体験！

生地をこねよう！

炭火の焼き台でせんべい焼き機にはさんだ生地をじっくり焼きます。



こがさないように・・・

最初に作った生地はごま塩味。スーパーで売られている南部せんべいのようなおせんべいです。固めでパリパリのおせんべいを食べながら、生地がなくなるまでたくさん焼きました。ごま塩のおせんべいに水あめをはさんだ「あめせん」もためしましたね。

ごま塩味のおせんべいを焼き終わったら、次はピーナッツバターせんべいを作ります。もう一度生地から作り、おせんべいを焼きました。このせんべいは、クッキーのようなあまいおせんべいでした。

雨が降ったので忠烈布湖をの探検はできませんでしたが、おいしいおせんべいを作ることができましたね♪

おみやげは喜んでもらえたかな？

第6回小さな自然観察クラブ ビーチコーミング体験

11月9日（土）に第6回目の小さな自然観察クラブを開催しました。今回はバスに乗って紋別へ行きました。天気・気温も悪くなく、少し風が冷たかったですが、無事久しぶりに野外での活動ができました。

いつもより早い時間に北国博物館に集合して、バスで2時間半ほどかけて紋別市オムサロ海岸へ行きました。ビーチコーミングでのかくれた危険についてお話をしっかり聞いて、いざ砂浜へ！思い思いに歩き、とがったものには触らないように気を付けながら、気に入ったものを拾っていきます。

この日は波も高く、満ち潮だったので、思いのほか波が近くまで来ました。波に近づいたり波から逃げたり、遊びながらビーチコーミングを楽しみました。往復2キロ近くを歩いてバスまで戻ったら、みんなで拾ったものの観察会です。

きれいな貝がらやすてきな石、流木などが多かったですが、中にはシーグラスやメノウといった珍しいものを拾った人もいました。

観察会を終えたら、バスで15分ほどの場所にある「道立オホーツク流氷科学センターGIZA」に行きました。まずはみんなでお弁当を食べて、そのあとに施設見学をしました。

流氷科学センターには実験を体験できる装置がたくさんありましたが、特に「マイナス20度の部屋」がとても面白かったですね。氷漬けになっているきれいな花や魚の標本がありました。また、マイナス20度でシャボン玉を凍らせてみる実験もあり楽しかったですね。それ以外にも、クリオネがいたり、竜巻に触ってみることができる装置があったり、充実した施設見学でした。

最後に流氷科学センターの人にお礼を言って、名寄に帰りました。今回は1年に1度の、遠くの街へ行くクラブ活動でしたが、みんなで楽しく活動できてとても良かったです。



いいもの見つけた？

第7回小さな自然観察クラブ ものづくり

12月14日（土）は今年最後の第7回目小さな自然観察クラブを開催しました。今回は博物館でものづくりです。今までの活動で自分で拾ったものや、お家から持ってきたもの、博物館で用意したものなどをつかって、自分で好きなものを作りました。

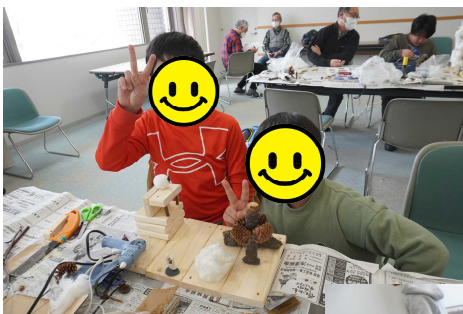
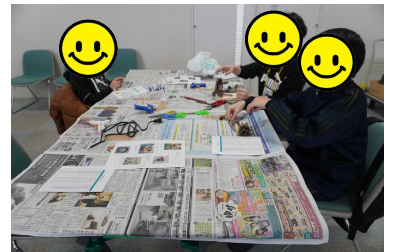


すぐに自分の作りたいものを考え付いて作り始める人もいれば、何をつくればいいのか思いつかなくて、たくさん考えた人もいました。博物館では接着用のグルーガンと、木に文字や絵を書くための半田ごてを用意して、指導員のみなさんに見守ってもらいながらものづくりを進めました。



毎年恒例のものづくりですが、今回は木の枝やどんぐり、綿をつかって生き物を作った人や、「ピタゴラスイッチ」のようなどんぐりが転がる装置を作った人がいました。また、時間をかけて大きな作品を作った人や、家を作った人、お部屋のプレートを作った人など、クラブ員はそれぞれ様々なものを作っていました。

今年度のクラブ活動は今回が最後ですが、来年もクラブ員を募集して活動を予定しています。4年生、5年生の皆さんは、来年もぜひ参加してみてください。6年生の皆さんは、中学生になっても観察クラブで体験して学んだことを活かして、たくさん活躍してくださいね。



すてきな作品がたくさんだね！